

冬休み明けの始業式が行われました。



長かった冬休みも終わり、本日（1月10日）より授業日となりました。登校した生徒は久しぶりに会う級友たちと語り合い、それぞれ明るい表情を見せてくれました。

始業後、最初に掃除を行い、年末の終業式と同様、放送による始業式が行われました。

各学年実りのある一年になるよう、それぞれが新年の抱負を胸に、良いスタートを切ってほしいと思います。

校長訓話（概要）

新年おめでとう。新年に全員が一同に会することができとても嬉しい。

池高生の活躍について。

演劇部：12月25日、中部日本高校演劇大会に県代表として出場。感動的で印象に残る名場面があった。夏の全国大会出場は逃したが、3月18日から大垣で開催される春の全国高校演劇研究大会に開催県枠で推薦され出場。

吹奏楽部：12月27日、池田町の湿地保育園と西保育園でお楽しみコンサートを開催し、子どもたちと交流。11月にJAFフェスティバルで演奏するなど地域に愛される演奏活動を展開。

12月に図書館の木質化工事が終了し、LED照明を取り付けると完成。木の香りが漂う快適な図書館を「読書センター」「学習センター」「情報センター」として活用しよう。

「ウサギとカメ」の昔話から得られる教訓は「油断大敵」。自信過剰で油断すると物事を逃す。歩みが遅くとも着実に進めば大きな成果を得る。

「人と比べるのではなく、昨日の自分と比べよ。」人と比較してばかりいると自分を見失う。伸び悩んでいるとき、挫折したとき、劣等感に苛まれるが、歩みは遅くても昨日の自分より一歩前に進むことが大切。今年は酉年。飛ぶ鳥のように高い所から見下ろす「トリ人間」になって、大きな目標や目的に挑戦しよう。物事を俯瞰して見て、考えよう。

「負けウサギ」の話について。負けたウサギはウサギ仲間から追放されるが、ウサギ達を狙うオオカミを負けたウサギが知恵を使って撃退し名誉挽回する。ウサギは悩み苦しみながらも過去の失敗から学び、仲間の役に立つこと、仲間の喜びを自分の喜びとすることで人生のリベンジを果たした。

3年生は、今日から25日登校すると高校生活が終わる。1日1時間を大切に有終の美を飾ろう。

2年生は、自分の将来設計を具体的に定め、実現に向けてやるべきことを明確にしよう。学習や活動に前向きな態度と行動で取り組み、3年生スタートの時期としよう。

1年生は、「初心忘るべからず。」未熟だった頃を思い出し、今の生活に生かそう。学力や社会変化に対応できる力の習得、ルールやマナーの順守、部活動や学校行事の取組により自分づくりに専念しよう。一人一人が夢と希望をもって本年を元気に乗り切ることを祈る。